

(犯 罪)

平成14年の刑法犯認知件数は8,215件、検挙件数は3,590件、検挙人員は2,071人となっています。

これを前年に比べると、認知件数は747件(10.0%) 検挙件数は701件(24.3%) 増加し、検挙人数は96人(△4.4%) 減少しています。

(火 災)

平成14年中の火災発生件数は319件、死傷者65人、損害額4億3,584万円となっています。

これを前年に比べると、件数は23件、死傷者は18人増加、損害額は9,960万円減少しています。

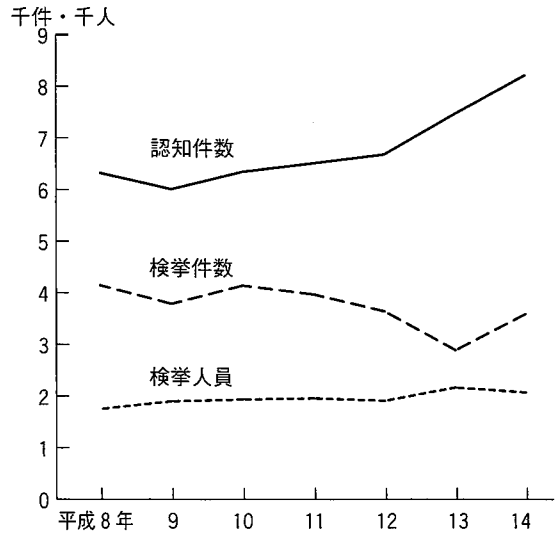
出火原因別では、「放火」が38件で一番多く、以下「たき火」(36件)、「こんろ」(32件)、たばこ(20件)、火入れ(13件)となっています。

指 標 名	鳥取県	順位	全国	年次
刑法犯認知件数(人口千人当たり)	13.4件	8	22.4	14
重要犯罪検挙率	74.5%	4	50.2	14
重要窃盗犯検挙率	44.5%	11	28.0	14
火災出火件数(人口10万人当たり)	47.7件	22	50.4	13

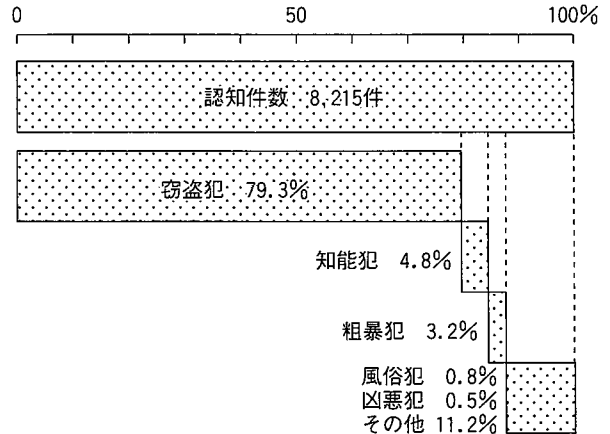
(注) 重要犯罪(殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐、強制わいせつ) 重要窃盗犯(侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり)とは治安情勢を観察する場合に、統計上その指標となる犯罪として掲げるものを言う。

刑法犯認知・検挙件数及び検挙人員

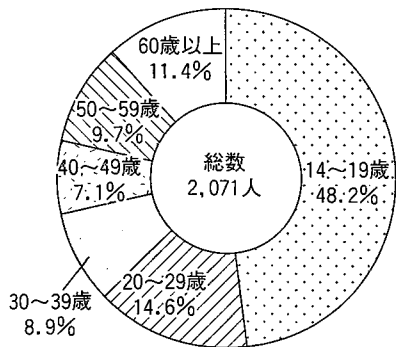
県警察本部



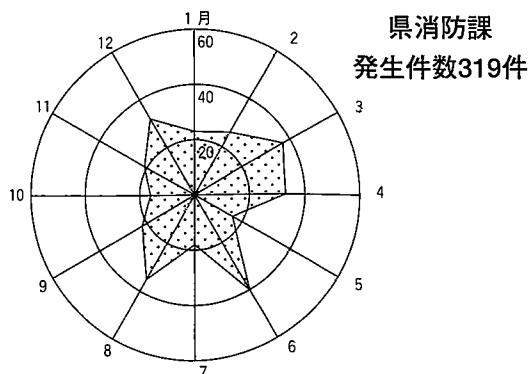
犯罪認知件数の罪種別割合 (平成14年)



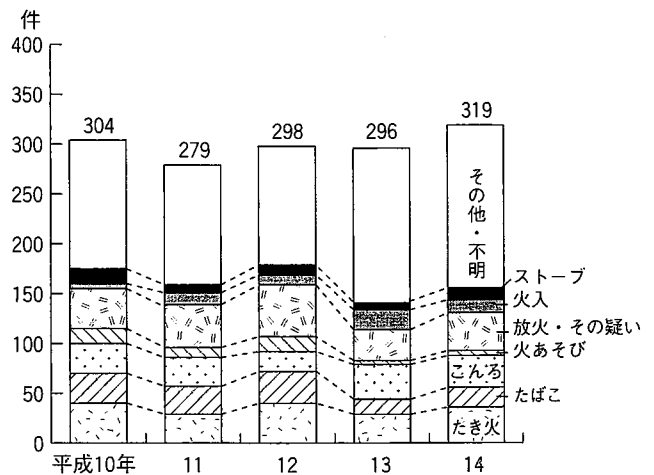
年齢区分別刑法犯検挙人員の割合 (平成14年)



月別火災発生件数 (平成14年)

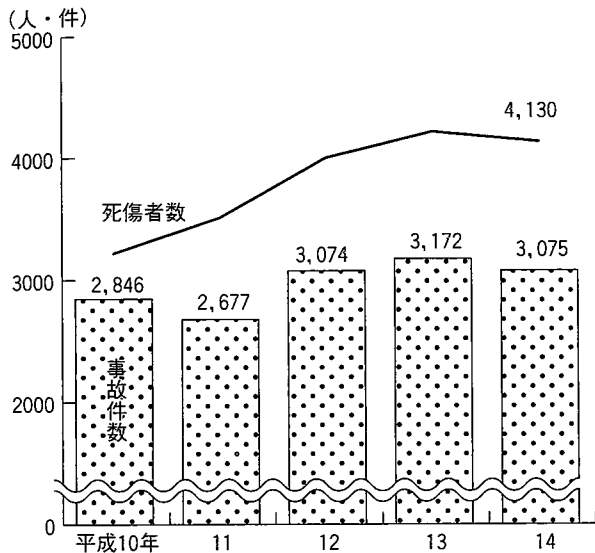


原因別火災発生件数の推移

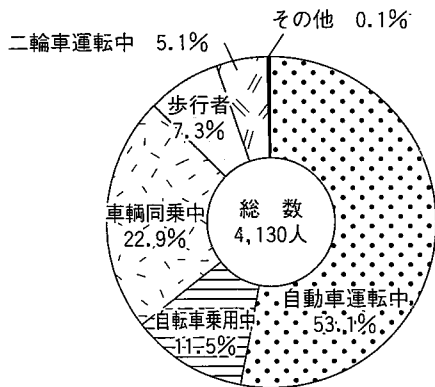


## 交通事故発生件数及び死傷者数 (事故件数は人身事故のみ)

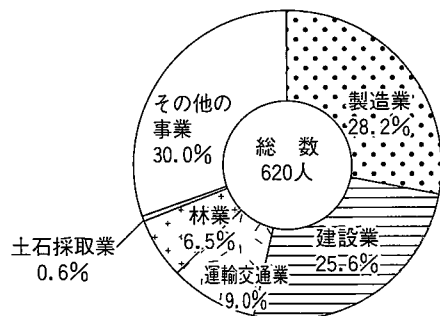
県警察本部



## 交通事故状態別死傷者の割合 (平成14年)



## 産業別労働災害死傷者の割合 (平成14年)



## (交通事故)

平成14年中に県下で発生した交通事故は、3,075件、死者79人、傷者4,051人と、前年に比べ97件減少、死者18人増加、傷者101人減少しました。

## (労働災害)

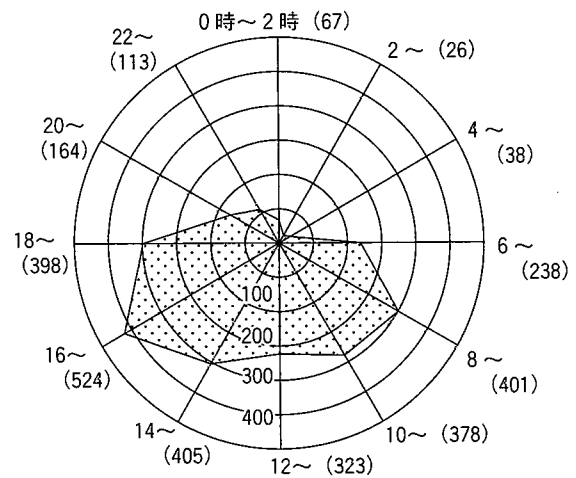
平成14年中の労働災害死傷者数は620人となっています。

産業別に見ると製造業(28.2%)が最も多く、次いで建設業(25.6%)、運輸交通業の順になっています。

指 標 名	鳥取県	ベスト順位	全国	年次
交通事故発生件数(人口10万人当たり)	501.6件	5	735.9	14
〃 死傷者数( 〃 )	673.7人	6	924.0	14

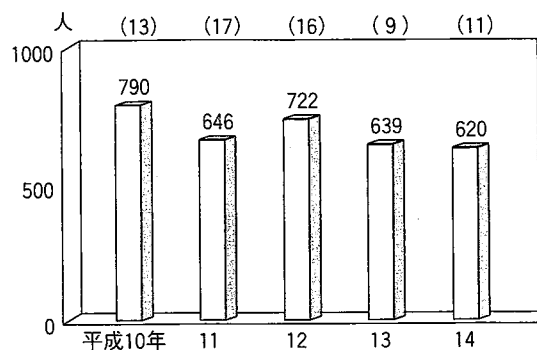
## 時間帯別交通事故発生件数 (平成14年)

発生件数3,075件



## 労働災害死傷者数

鳥取労働局



・休業4日以上死傷者数の合計

・( )は死亡者数で内数